

## 第二期武蔵野市観光推進計画 第4回策定委員会 議事要録

### 【会議概要】

日 時	平成 28 年 11 月 10 日 (水) 午後 6 時～8 時
場 所	武蔵野商工会館 5階第1・2会議室
出席委員	小田宏信委員長、稲垣英夫委員、花俣延博委員、 麻生日佐子委員、井柳南進委員、中村光治郎委員、福島和仁委員、 松倉晋委員、八尾明美委員、武藤毅委員、小島祐一委員
事務局	生活経済課 西川課長、平塚課長補佐、大久保主任 パシフィックコンサルタンツ株式会社 4名
傍聴者	0名
会議次第	1 開会 2 議事 (1) パブリックコメントの実施について (2) 中間のまとめ案について 3 その他
配布資料	第二期武蔵野市観光推進計画 第4回策定委員会 次第 資料1 第二期武蔵野市観光推進計画 第2回策定委員会会議録 資料2 第二期武蔵野市観光推進計画 第3回策定委員会会議録 資料3 第二期武蔵野市観光推進計画 パブリックコメントの実施について 資料4 第二期武蔵野市観光推進計画 (中間のまとめ) 資料5 第二期武蔵野市観光推進計画 第3回策定委員会指摘事項への対応

### 【議事】

#### 1 開会 2 議事

##### (1) 計画の目標及び方針について

事務局	～資料3資料説明～
委員長	資料3のパブリックコメントの実施についてご意見・ご質問等はあるか。
委員長	出された意見は原則公開とあるが、提出者の氏名も公開されるのか。
事務局	提出者の個人名については原則公開しない。
委員長	中間まとめの段階では委員名は入らないのか。
事務局	委員名簿については既に公開済みであるが、議事録の発言については委員という形で掲載しており特定できない形となっている。中間まとめに関してもそのような形で対応する。 なお、パブリックコメントの実施の周知については、12/1号の市報、市のホームページにて行う。
委員	配布場所に、コミュニティセンターも加えていただきたい。
事務局	コミュニティセンターも追加させていただく。
委員	図書館とあるがこれは、市内3箇所全てか。
事務局	市内3箇所全てあり、市政センターも同様に市内3箇所全てである。
委員長	では、この方向で進めていただくようお願いしたい。
事務局	～資料4・5資料説明～
委員長	前半6頁までについてご意見・ご質問等はあるか。
委員	4頁のSWOT分析について、前回強みに文化的イメージがあること、そして市内3駅それぞれが個性的であることを入れていただきたいとの2つを申し上げた。市整体的に高い文化イメージがあることを伝えなかった。2つを組み合わせると一文となっ

	ている。分けて記載していただきたい。それぞれが文化的特色としてしまうと、低いレベルでの特色と捉われかねない。
委員長	修正をお願いしたい。「※隣接地域の…」という注釈を枠外に記載すれば SWOT 分析に十分なスペースも取れると思う。
事務局	「高い文化」というのは「質の高い」という表現でよろしいか。
委員	「文化的に高いイメージがある」で良いかと思う。
委員	他所と比べて特に強みとして言えるものだろうか。
委員	そのイメージに憧れ、多くの方が来ている。また、教育レベルに関してもデータとして出ている。十分に言えるものかと思う。
委員	高い、低いは相対的なものであり微妙ではないか。
委員	「文化的に高いイメージがある」という記載であれば問題ないと思う。
委員	文化的イメージは、東京に限らず日本全国にあると思う。
委員	文化的イメージがないところは、おそらくないだろう。優劣を独りよがりをつけているようだ。
委員	高い低いではなく、「文化的イメージがある」という程度にとどめた方が良いと思う。
事務局	3 駅それぞれに特色のある、文化的イメージを有しているという記載ではどうか。
委員	3 駅に個性があることと、全体として武蔵野市に文化的イメージがあることは別物だと思う。
委員	それぞれの項目をひっくるめて文化的イメージが高いということであり、同レベルで並列するのはいかがかと思う。
委員	文化に関しては記載されていない。作家や漫画家が多く在住していること、文化的イベントがあることなども記載されていない。
委員長	狭い意味での文化であり、文化的活動が盛んといったことだろうか。文化経済に恵まれているということかと思う。
委員	3 駅があることが強みというが、杉並区は 4 駅を有しそれぞれが個性的である。
委員	武蔵野市全体として文化的イメージがあり、武蔵野市が有する強みである。3 駅が個性的であることは別物であり、項目として分ける必要があると思う。
委員	市内 3 駅を有し、それぞれに違いがあるのは珍しい。吉祥寺はアニメ、武蔵境は文学・歴史、三鷹には産業遺産がある。上手く表現してほしい。
委員長	「市内全体として芸術文化の香りがする。」「市内 3 駅の駅勢圏がそれぞれ個性を有している。」ではいかがか。
委員	街の文化というものと、芸術文化を分けた方が良い。市全体に芸術文化があり、3 駅の特徴とは異なるものであるということだろう。
委員	3 駅が、文化とは別の切り口を持って個性的である。
委員長	ここは 2 項目に分け、「市内全体として芸術文化の香りがする。」「市内 3 駅の駅勢圏がそれぞれ個性を有している。」とする。
委員	1 頁の (1) に「少子高齢化社会の中で」とある。2010 年代からは、少子高齢化ではなく人口減少が始まっている。人口減少により商業活動・経済活動がどんどん少なくなり、市の税収も当然ながら減ることとなる。少子高齢化は昔から言われてきた事であるが、少子化対策をしてこなかった結果なのだろう。少子高齢化よりも人口減少という言葉を入れていただけないか。
委員	市の子ども家庭部で聞くところによると、武蔵野市は人口流入もあり、高齢化は進んでいるが、少子化は当てはまらないということだ。
委員	市の 10 年後、20 年後の人口推計によると 14 万人程度で横ばい状態である。しかし個人的には違うのではないかと感じている。市の構想ではビルの高層化、またマンションの高層化等も条例等で抑えている。今後、空き家問題も出てくるであろう。そのような状況下で人口が横ばいになるとは考えられない。市の見方は甘いのでは

	ないか。
委員	日本全体のマーケットが縮小していく中で、そのために他からお客様を呼び、そしてお金をいただくといった経済活動により税金を納める。もし、この街にそのポテンシャルがなければ、事業者の撤退も考えられる。それを防ぐためにどうしたら良いのか。人口減少の中でどうしたら良いのか考えていかなければいけない。
委員長	「超高齢化・人口減少の社会の中で」としてはどうか。
委員	そもそも「少子高齢化社会の中で」の文言は不要ではないか。
委員	人口減少は間違いなく訪れるのであった方がよい。今後、若い人を呼び込むための仕掛けなど欠かせないものになってくる。
委員	10年間の計画であり、そこまで踏み込んで推進していくべきと考える。
委員長	国の総合戦略でも高齢化・人口減少は謳われている。入れておいた方がよいだろう。
委員	市を取り巻く状況は観光推進計画のみならず市政全体としてきちんと捉え、観光としては、少子高齢化よりも人口減少という社会の中でどのように活力を得ていくかということかと思う。そのような文言は入った方がよいと思う。
委員	武蔵野市には人口流入しているとのことだが、建物の高層化は抑制しており街の活性化という面では、今後大変だろうと感じている。
委員	武蔵野市に限った話ではない。この計画は10年間の計画であり、2020年以後のことも考えて書き込むべきではないかと思う。
委員	観光というのは外からお客様を呼んで地域の経済振興を図ることである。現状の課題は、他の都市の魅力が増してきている。競争が激しい中で武蔵野の力、武蔵野の活力を上げていくのが観光であるという観点も必要である。
委員長	「超高齢化・人口減少の社会の中で」と併記する形で修正いただきたい。
委員	人口減少については、SWOT分析の脅威にも加えて良いのではないか。また、都市間競争についても、中野・立川の記載はあるが渋谷も開発が進んでいる。パイの取り合いになるのではないか。
委員長	新宿新南口の開発も吉祥寺に影響があったかと思う。渋谷の大々的な開発も完了したら影響はあるだろう。
委員	国分寺や府中も開発が進んでいるが、中野・立川の記載があるのなら、大開発が進められている渋谷についても書き加えた方がよい。
委員	渋谷は京王井の頭線・東急東横線・山手線など多くの路線が乗り入れ、開発により乗り継ぎの利便線が上がる。かなりの脅威である。
委員	人は新しいものに惹かれる。新しいものは既存物を研究し、より魅力のあるものが作られる。吉祥寺が見捨てられる、疲弊してしまうという危惧はある。だから、観光機構を設立して着地型観光を始めた。
委員	武蔵野市はインフラが弱い。その弱い部分を観光などソフト面で対応している。
委員長	脅威には、渋谷の開発の件と人口減少が危惧されるということを追記願いたい。
委員	6ページの2つ目、「観光機構の各委員会にボランティアガイドや大学生」とあるが、ボランティアガイドよりも市民という大きな捉えの方がよいと思う。また、各委員会についても、「各委員会や市内の組織団体の会議」とした方が広く意見が集まる。「観光機構の各委員会や市内の組織団体の会議に市民や」とする。
委員	その後、「多様な市民や学生」とあり重複する。「広く共有していく取組み、交流・連携できる場づくりが必要です。」とするのがよい。
委員	6ページの3つ目、観光を支える担い手の育成で、「活動の自由度が高いリタイヤ世代」とあるが、外していただきたい。高齢化が進んでいるのにリタイヤ世代の参加促進は矛盾する。せつくなので、若い世代の取り込みに繋げた方がよいと思う。
委員	問題点として「ボランティアガイドの高齢化及び固定化が進んでいる」と前文にある。そのために若い方をもっと取り込みたいのだから、その通りだと思う。

委員長	「活動の自由度が高いリタイヤ世代の参加促進や」については削除願いたい。では、後半を含め資料4についてご意見を頂戴したい。
委員	9頁の施策例の1つ目に、ごちそうフェスタも追記願いたい。吉祥寺は横浜に次いで食が豊かである。
委員	11頁の3)の施策例に「民間事業者による誘致活動の支援」とある。市として、具体的に誘致活動を行わないのか。それとも武蔵野観光機構さんが行うのか。
委員	それぞれがWi-fiを整備するための支援など、個々の事業者の誘致活動への支援になる。武蔵野市としてもルーマニア国のホストタウンとしてルーマニアの方々を招き入れるということも行っている。ルーマニア国の方は少ないかもしれないが、ルーマニア国が好きな日本人に来ていただくようにするなどの活動になる。
委員	それも誘致活動かもしれないが、他の自治体や観光協会では様々な観光博や旅行博に出向いて誘致活動をされている。そのようなことは行わないのか。インターネットでの情報発信だけでは今の時代にそぐわない。インターネットで発信したところで、それは出しているだけで呼び込むことを考えていない。
委員	観光機構のホームページをどのような方が閲覧しているのかは把握している。それに対し、どのように見てもらい来て頂けるかという取組みはしている。
委員	もう一步踏み込んでほしい。他の自治体がどのくらい力を入れ必死になって取り組んでいるのか一度見ていただきたい。このような民間事業者任せでは、埋もれてしまい来街者を呼び込めない。
委員	「官民による誘致活動」としたらどうか。
委員	誘致活動はプロモーションとした方がいいのではないか。
委員	12頁の4) MICE 誘致では、官民一体となっている。
委員	情報を出すだけでは誘致にならない。施策例にはツールばかりであり活動をしないと知ってもらえない。
委員	東京オリンピックを契機にと言うが、あと3・4年しかない。他はもう手を打ってきている、手遅れかもしれない。東京に外国人は来るだろう、しかしこのままだと吉祥寺を通り過ぎてしまう。彼らはオリンピックを観に来るのであり、武蔵野市に観光に来るとは思えない。情報発信をしているつもりでも彼らは見ていない、せっきく情報発信をするのならどのようにして見ってもらうか。Web サイトは自販機と一緒に商品を並べているだけ、それをどのように押しってもらうか考えるべきである。
委員	「官民事業者による誘致活動の強化」もしくは検討などにしてはどうか。
委員	誘致活動の実施ではどうか。余談になるが吉祥寺はミシュランで1つ星である。ミシュランのロビー活動のような事を行った方が良いのではないか。
委員	都市観光といわゆる観光地の観光とは質が異なるかもしれないが、観光として考えると、どの街も観光が無くなると生業が無くなるので、必死に頑張っている。しかし、武蔵野市は観光でお金を得ている訳ではないので必死さが見えない。必死に行わないと都市観光と言いながら無駄に税金を使うだけになってしまう。武蔵野市独自のものを考え行っていただきたい。
委員	やり方を変えないと、必死で頑張っている方たちにかなう訳がない。数値目標はこのままでいくようだが、もう少し意識を高くして進めてほしい。
委員長	官民によるプロモーションということをお願いしたい。また、12頁の4) MICE 誘致については、官民だけでなく「官民学」としていただきたい。弊学としても何らかの形で貢献していきたい。
委員	テレビの情報番組で吉祥寺は良く取り上げられているが、取り上げられる情報が一辺倒で、多彩な武蔵野市の魅力が伝わっていない。テレビや雑誌が企画立案の際に他の切り口を提言する体制を整えるなど、情報発信についてもきちんとしていくべきではないか。12頁の5)で情報分析の記載はあるが、情報発信については記載がない。項目立て

	してはいかがか。
委員長	市民への情報発信は 10 頁にあるが、対外的な情報発信についての記載はないようだ。具体的にはどこに項目立てするのが相応しいか。
委員	外国人の誘致よりもまずは情報発信が重要だと思う。
委員長	「情報発信の強化」として基本方針 3 の 2) と 3) の間でいかがか。
委員	施策としては、来訪者に対し SNS などによる直接的な情報発信と、テレビや雑誌社への情報発信の 2 つになる。メディアへの露出と質の強化だろうか。
委員	フィルムコミッションへの問い合わせは年間 468 本程である。商店街のロケはほぼ指名で、指名店舗・ハモニカ横丁・サンロード商店街・ダイヤ街・中道通りでほとんどを占める。個店に関してはほぼ指名で、提案しようにも入る余地がない。指名がない場合には、こちらで提案をしている。タイのメディアは中道通りや雑貨店に興味を示してくれたので、提案型で撮影していただいた。啓蒙活動を通し様々な場所を紹介していきたいと気は回している。
委員	吉祥寺はマスコミを利用することが苦手な街である。中央線沿線で行われる祭りに関してもマスコミの取り上げ方が異なる。マスコミとの接触があまりにも少ない。もう少し強化していくことが大事だと思う。
委員長	施策例を「多様な資源の多様な切り口での情報発信」としてはどうか。
委員	それと「メディア対応の強化」を入れてはどうか。
委員	武蔵野版や J-COM ではなく、もう少し広い意味でのメディアに取り上げられていないということだろう。
委員	メディア対応の強化と言っても何をしたら良いのか分からない。売り込み方、営業活動が大事だと思う。 また、12 頁の基本方針 2 の 5) の情報分析も重要だと思う。今日議論したことを客観的に捉えた上でこのような武蔵野市を目指している、だから取り上げてほしいとメディアに営業していくことも必要だろう。現状把握と整理は重要で、もう少しウエイトを置いても良いのではと思うほどである。見方も感じ方もそれぞれである。客観的に捉え把握し目標を据えることにより改善活動が始まるのではないだろうか。 情報発信をいくらしても相手に伝わる事にはならない。ホームページに物理的に載っても相手には届いていない。
委員	Web マーケティングは難しい。
委員	だからこそ、具体的にメディアに足を運ぶなど地道な活動をしてほしい。
委員	観光機構さんでイベント等のプレスリリースはされているのか。
委員	観光機構では武蔵境のイベントなどのプレスリリースは行っていない。市が武蔵野版の記者に行っている。
委員	武蔵野付きの記者に発信して取り上げてもらえるかどうかとなる。
委員	商店街関連のイベントについて全てのリリースは行っていない。
委員	市長の定例会見でも、全てのイベントについてはお答えしていない。
委員	せっかくイベントを行っているのであれば、プレスリリースを出してほしい。
委員	キャッチコピーを付けるなど、興味を引くようなプレスリリースの出し方がある。そのような戦略は必要である。
委員	それを行っていけば、メディアが少しは乗ってくれると思う。
委員	各商店街にリリースを書けるような人材がいるとも限らない。
委員	全商店街が観光機構の会員になっている訳ではないが、観光機構が出さなければ他に言うところがないだろう。
委員	情報をきちんといただき、取捨選択の上でとなるだろう。プレスリリースはしていないが、SNS で発信している。1 日で多いときには 5,000~10,000 件のアクセスがある。

委員長	もう一つの施策例は「プレスリリースを含むメディア対応の強化」だろうか。
委員	情報分析は地域経済分析システム RESAS がある。市が活用していくのであれば、施策に「RESAS の活用」も追記しても良いのではないか。
委員	プレスリリースはどちらでやられるのか。
委員	観光機構で行うしかないだろう。
委員	出しすぎるとメディアに飽きられてしまう。取捨選択の上、行っていく。
委員	人間模様を入れると取り上げられ記事になりやすい。基本情報だけでなくストーリーが必要である。
委員	商工会議所さん、商店会連合会さんと連携しながら行っていく。
委員長	10 頁に「一店逸品、Mu～Shop 制度」など市民でないと分かりにくい用語がある。注釈を入れた方が良いと思う。ご検討いただきたい。また、武蔵野トレジャーハンティングやチャレンジショップ系店舗なども同様をお願いしたい。
委員長	いただいたご意見を反映させ、パブリックコメントを実施するという事によろしいか。
委員一同	異議なし
委員長	長時間にわたりご議論ありがとうございました。以上で終了とさせていただきます。

### 3 その他

- ・中間のまとめについては修正後お送りする。内容のご確認をお願いしたい。
- ・次回の会議日程は来年 1 月 27 日（金）18 時から、場所は武蔵野商工会館 5 階第 1・2 会議室とする。

以上